

製品名: TFPI-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18842**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	13kDa

抗原情報

遺伝子名	TFPI2
別名	TFPI2; Tissue factor pathway inhibitor 2; TFPI-2; Placental protein 5; PP5
遺伝子 ID	7980.0
SwissProt ID	P48307
免疫原	抗血清は、ヒト TFPI2 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 186-235

背景

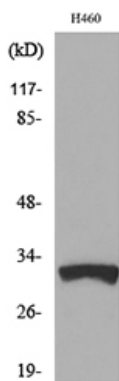
この遺伝子は、クニッツ型セリンプロテアーゼインヒビターファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、第 VIIa

因子 / 組織因子、第 Xa 因子、プラスミン、トリプシン、キモトリプシン、血漿カリクレインなど、様々なセリンプロテアーゼを阻害することができます。この遺伝子は、いくつかの種類 of 癌において腫瘍抑制遺伝子として同定されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 8 月]、ドメイン: このインヒビターは 3 つの阻害ドメインを含みます。機能: プラスミンを介したマトリックスリモデリングの調節に関与している可能性があります。トリプシン、プラスミン、第 VIIa 因子 / 組織因子、および弱く第 Xa 因子を阻害します。トロンピンには影響しません。類似性: BPTI/Kunitz 阻害ドメインを 2 つ含みます。類似性: BPTI/Kunitz 阻害ドメインを 3 つ含みます。組織特異性: 臍帯静脈内皮細胞、肝臓、胎盤、心臓、膵臓、妊娠後期の母体血清。

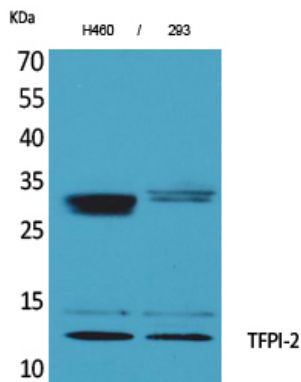
研究分野

心血管系、血液、線溶・血栓溶解、凝固、調節、細胞生物学、タンパク質分解・ユビキチン、プロテアーゼ阻害剤、その他のプロテアーゼ阻害剤

画像データ



TFPI2 抗体を使用した H460 細胞の溶解液のウェスタンプロット分析。



TFPI-2 ポリクローナル抗体を用いた H460,293 細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。